掲載日：2011年03月24日，面名：Y10YX0，記事ID：K20110324Y10YX0010
(C)河北新報社

東北道が全面再開

SA給油目指し車列

宮城避難者なお9万人

東北自動車道は24日午前6時、一般車両の通行規制が全面解除された。東日本大震災から14日目で、東北道はすべての車両が通行可能となった。宮城県警と県災害対策本部のまとめによると、県内の死者は5889人、避難者は9万1126人。14日に最大約33万3000人に達した避難者が10万人を下回った。

仙台市泉区の泉インターチェンジ（IC）では、夜明け前から一般車100台以上が列をつくった。午前6時になると、車が吸い込まれるように動きだし高速道の利用を始めた。

大崎市の長者原サービスエリア（SA）など、東北道内のガソリンスタンドには、解除直後から近郊の乗用車などが1キロ以上並んだ。本線まであふれるSAもあった。

東日本高速道路東北支社によると、高速道路のガソリンスタンドも供給不足が続いており、給油を制限する場合がある。同支社は燃料切れに注意するよう呼び掛けている。

一般車両の通行止めが解除されたのは、一関―宇都宮IC間。22日に一関IC以北が全面解除された後も、被災地への物資や人員輸送など災害対応を優先させるため、通行は救急車などの緊急車両、トラックなどの大型車に制限されていた。

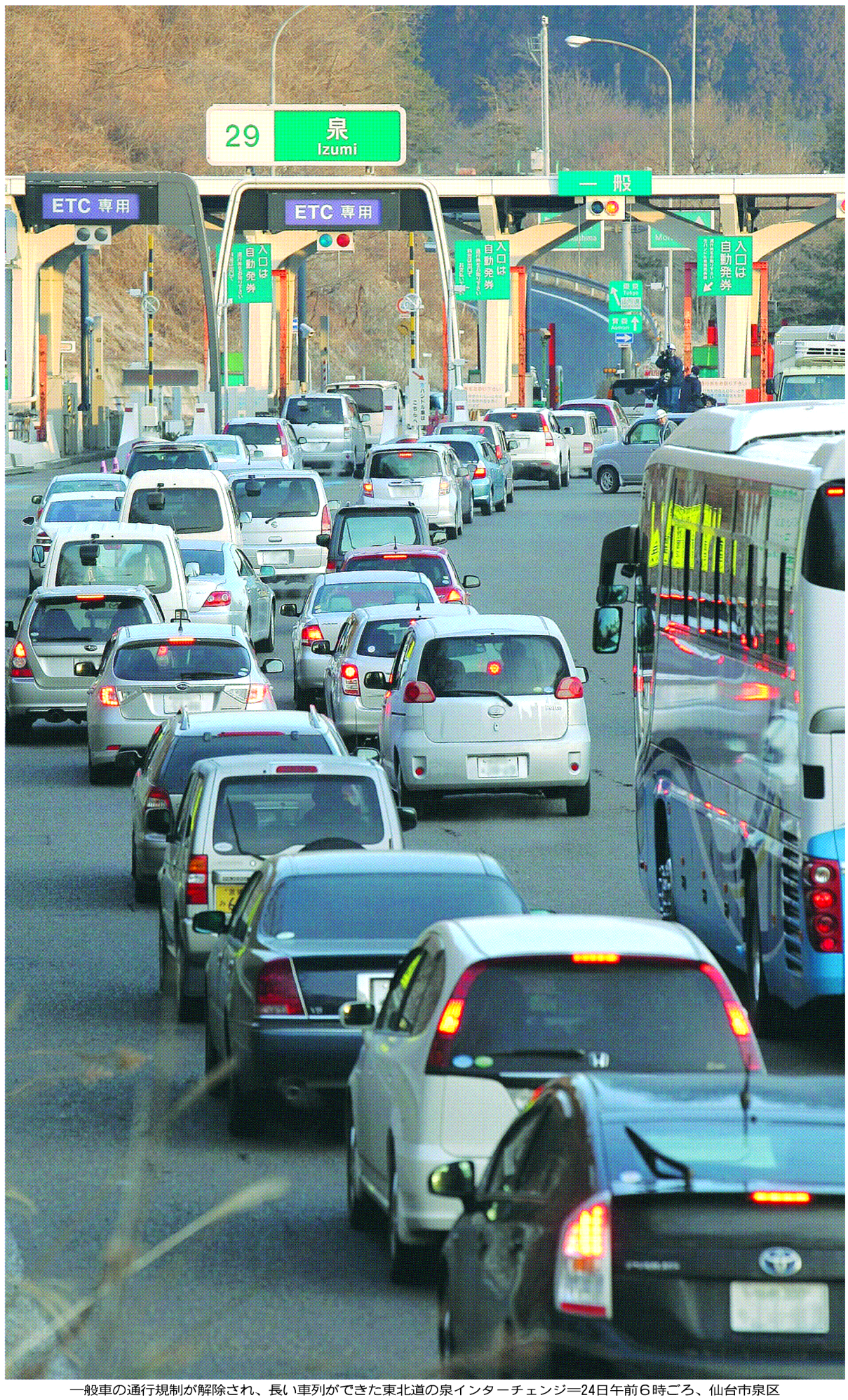
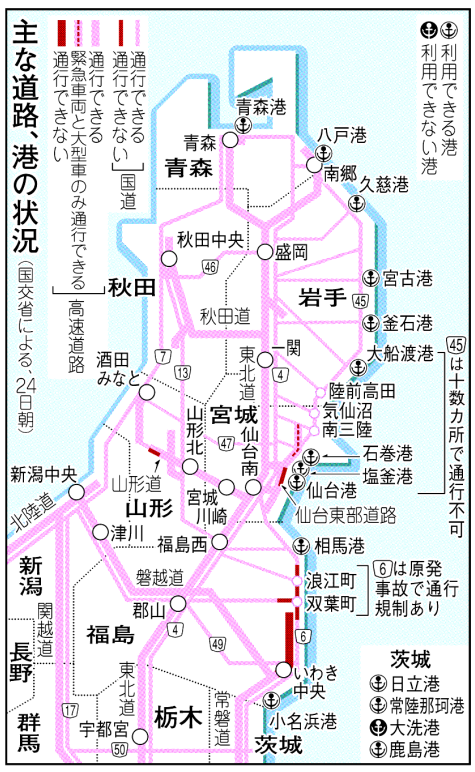
東北道のほか、山形、磐越の各自動車道、宮城県内の仙台北部、仙台南部道路の通行規制も24日午前6時に解除された。

三陸自動車道は利府ジャンクション（JCT）―鳴瀬奥松島IC間でも一般車両の通行が可能になり、石巻方面との利便性が増した。

三陸道の鳴瀬奥松島―登米東和IC間は道路が損傷し、一般車は利用できない。三陸道と仙台東部道路、常磐道にまたがる利府JCT―山元IC間は規制を解除するが、利府JCT―仙台若林JCT間の上り線（南行き）は補修工事のため、緊急車両と大型車も含め通行止めとする。

山形道の宮城川崎IC―村田JCT間は工事が完了し、全車両の通行が可能になった。

東日本大震災の死者は警察庁の24日午前9時現在のまとめで、12都道県の9523人。行方不明者は1万6067人で、死者・行方不明者は計2万5590人となった。



一般車の通行規制が解除され、長い車列ができた東北道の泉インターチェンジ＝24日午前6時ごろ、仙台市泉区